

ご関係の皆様には大変お世話になっております。  
工事の現況などについてお知らせいたします。  
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元：鹿島・東亜特定建設工事共同企業体  
気仙沼湾横断橋小々汐JV工事事務所  
TEL:0226-25-5661 FAX:0226-24-3341

※現場見学をご希望の方は上記連絡先までご連絡下さい(担当:小室)



## 工事現況

## トラス型支保工撤去完了しました！

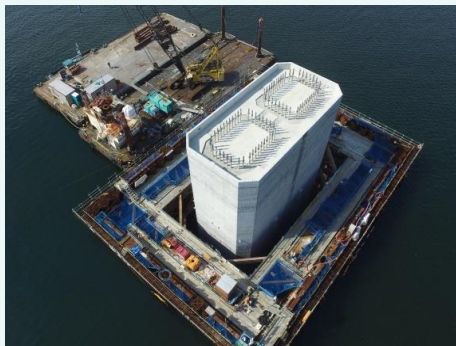
P12橋脚の躯体構築が完了した後に、『トラス型支保工』の解体撤去を進め、10月8日に完了しました。この『トラス型支保工』は鋼管矢板で囲んだ内側の水を抜いて、ドライな状態で作業をするため、外側の水と土からかかる圧力で鋼管矢板が変形するのを防いできました。10月10日には『550 t 吊旋回式起重機船』が入港し、防舷材（下記コラム参照）を橋脚に設置しています。防舷材設置完了後は橋脚を囲う鋼管矢板を水中切断して引抜く作業に着手し、海上工事はいよいよ終盤を迎えます。

A2橋台では引き続き深礎の掘削を進めており、10月中に鉄筋組立作業に着手し、11月にはコンクリートを打設致します。

世界最高品質の橋脚・橋台を目指して今後も安全に施工を進めて参ります。引き続き、航行船舶の安全確保と海の環境保全を最優先に作業して参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



①防舷材設置状況（空撮）



### ②P12橋脚躯体完成状況



### ③トラス型支保工（１・２段）解体状況



④トラス型支保工（1・2段）解体完了

**工事予定**

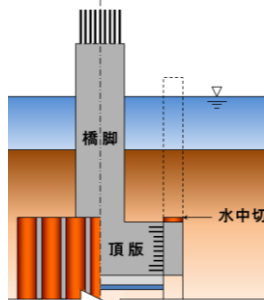


今月の一品

## 「巨大防眩材」



鋼管矢板を撤去する（10～11月）＝海上工事完了



2015年の7月の着工以来、小々汐だよりにて海上工事の状況をお伝えして参りましたが、トラス型支保工の解体と、防眩材設置が完了し、大きな作業は橋脚を囲う鋼管矢板の撤去を残すのみとなりました。11月末には海上工事が完了する予定です。



P12橋脚では橋脚を囲うように防舷材を8組設置しております。防舷材は船舶が接岸する際に衝撃を和らげるものですが、P12橋脚で使用するものは重量13.5t、高さ5m×幅5mほどのゴム製の巨大防舷材です。万が一、貨物船がぶつかっても橋脚が耐えられるよう設計されており、最高品質のコンクリート橋脚を守ってくれます！

[illegible]

**現場HP更新！**



クールで面白い仕事  
おもしろ物語 @ 工事現場